

平成16年10月期 第3四半期業績の概況（連結）

平成16(2004)年9月3日

上場会社名 **株式会社カナモト** (コード番号: 9678 上場取引所: 東証第一部・札証)
(URL <http://www.kanamoto.co.jp>)

代表者 役職名 **代表取締役社長** 氏名 **金本 寛中**
問合せ先責任者 役職名 **取締役執行役員経理部長** 氏名 **卯辰 伸人** (TEL(011)209-1600)

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無.....無
連結及び持分法の適用範囲の異動の状況.....無

2. 平成16(2004)年10月期第3四半期の業績概況（平成15(2003)年11月1日～平成16(2004)年7月31日）

(1) 売上高（連結）成績 (金額表示: 百万円未満切捨て)

	百万円	%
平成16(2004)年10月期 第3四半期	44,478	()
平成15(2003)年10月期 第3四半期		()
(参考)平成15(2003)年10月期	63,686	

- (注) 1. 売上高は、当該四半期までの累計値であります。
2. 平成15年10月期は四半期業績の開示を行っておりません。よって、前年同四半期比増減率を示すパーセント表示の表記は省略しております。

〔売上高に関する補足説明〕

< 経営環境 >

当第3四半期の日本経済は、一部の企業・地域の景況感があたかも日本全体の景況感であるがごとく景気回復イメージが先行していましたが、企業業績の回復と雇用の状況の乖離はまだまだ著しく、企業の大小、首都圏と地方の景況感に温度差のある状況が続きました。特に建設関連事業については、民間需要が少なく公共事業に頼るところの多い地方で引き続き厳しさが目立ちました。

< 主力事業の動向 >

新長期経営計画『メタモルフォーゼ』に基づき、建設機械レンタルでは公害対策機のラインナップなど他社にはない最新鋭機の品揃えを最大の武器に、収益性の高い機種比率を高めつつ、建築・メンテナンス工事向けレンタルなどの新規市場開拓を強化しました。また、仮設足場や保安用品、建設現場に付帯する什器備品など、グループ全体を通じてきめ細かな営業に注力いたしました。また、一部地域では、地場優良同業者とのアライアンス提携による競合回避をはかりつつ、収益確保に努めました。

その結果、当該四半期は公共事業の発注の少ない端境期ではあるものの、首都圏、ならびに東海地区を含む近畿中部地区では、民間需要に食い込み堅調に推移しました。一方、公共事業の減少が続く地方、東北地区と北海道地区においては、災害復旧工事以外の工事は少なく、苦戦いたしました。

< 特記すべき事業展開と、拠点新設閉鎖の状況 >

かねてから戦略の一環として構築してきたアライアンスが結実し、次の段階に移行しつつあります。当第3四半期の期間中には、株式会社金谷リース(本社:千葉県浦安市)の高所作業用機械レンタル事業を譲受け(6月1日)、首都圏高所営業所として営業を開始しました。また、北海道の道東地区で密接的な協力関係にあった

中野モータース株式会社（本社：北海道紋別郡生田原町）の建機レンタル事業を当社が継承（7月2日）し、遠軽営業所として事業展開を行っております。

なお、直近においては、上記に加え、兵庫県下トップの建機レンタル業者である株式会社カンキ（本社：兵庫県神戸市須磨区）を子会社化する予定にあります。上記と合わせ、これらにつきましては、当社平成16(2004)年10月期の業績に与える影響は軽微であります。次年度以降には当社のレンタル事業拡大に寄与するものであります。

そのほか、首都圏の建機基地として総敷地面積 約5,627㎡の新木場営業所（敷地には首都圏高所営業所を含む）を新設、また、黒部出張所（富山県黒部市）と戸田営業所（埼玉県戸田市）の2カ所を閉鎖しました。これで平成16(2004)年10月期の新設は5カ所、閉鎖は7カ所となりました。このほか、コマツとのアライアンスの一環として、北海道沙流郡門別町に日高災害復旧の受注対策のため、共同運営で門別機材センターを立ち上げております。

以上の結果、当社平成16(2004)年10月期第3四半期終了時点での連結売上高は、444億78百万円でした。

（2）当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当事項はありません。

3．平成16(2004)年10月期の連結業績予想（平成15(2003)年11月1日～平成16(2004)年10月31日）

	予想売上高	予想営業利益	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
連結通期	60,780	1,850	1,700	950	31 81
(参考)個別通期	58,730	1,820	1,740	1,020	34 15

〔業績予想に関する定性的情報等〕

上記記載の業績予想は、前回公表（平成16(2004)年6月10日開示）の予想値に修正を加えております。

また、この業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の経済環境予想等に基づいて予測し作成したものであり、リスクや不確定要素が含まれております。

従いまして、実際の業績は、当社を取り巻く経済情勢、市場動向、競合状況等、今後様々な要因によって、記載の金額の予想数値と異なる可能性がありますのでご承知おきください。

以上